

資料提供	
令和3年6月24日	
担当課 (担当者)	とっとり弥生の王国推進課 青谷上寺地遺跡整備室 (高橋、門脇)
電話	0857-85-5011

とっとり弥生の王国調査整備活用委員会調査研究部会（青谷上寺地遺跡担当）を開催します

2か年の計画で調査を実施している史跡青谷上寺地遺跡第19次発掘調査について、令和3年度の調査方針について審議するため、標記の会を下記のとおり開催します。については、取材いただきますようお願いします。

記

1 日 時

令和3年6月28日（月） 午後0時20分から午後3時まで

2 場 所

青谷上寺地遺跡第19次発掘調査区
鳥取市青谷町総合支所2階多目的ホール（鳥取市青谷町青谷667番地）

3 主な内容

第19次発掘調査における令和3年度の調査成果と課題、および今後の調査方針について

青谷上寺地遺跡第19次発掘調査は、遺跡中心域の北側の調査を2か年計画で実施しています。2か年目となる令和3年度の調査では、これまで遺跡が衰退すると考えていた古墳時代前期（4世紀）に丘陵上の土砂を用いた大規模な造成が行われたこと、その上に土坑や溝、建物の可能性がある遺構など、当時の人々の活発な活動痕跡が残っていることが明らかになりました。

今回の調査研究部会では、その調査成果と課題を報告し、今後の発掘調査方針を各委員に審議いただきます。

当日の資料及び内容は、後日ホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/yayoi-suishin/>）にて公開します。

4 とっとり弥生の王国調査整備活用委員会 調査研究部会（青谷上寺地遺跡担当）

専門	委員氏名	所属
考古学	木下 尚子	熊本大学 名誉教授
	野島 永	広島大学大学院 教授
	長友 朋子	立命館大学文学部 教授
古環境学	辻 誠一郎	東京大学 名誉教授
保存科学	降幡 順子	京都国立博物館 保存科学室長